

第3回 教育支援コーディネーター・ミーティング（報告）

取組事例と経験交流から考える～“コーディネーター”の役割

各地域で活動する教育支援コーディネーターのスキルアップとネットワークづくりのために、研修会「教育支援コーディネーター・ミーティング」を開催しています。

平成 23 年度第3回の「教育支援コーディネーター・ミーティング」は、主に平成 20 年度からの学校支援ボランティア推進協議会事業をきっかけに地域コーディネーターを始めた方々向けの研修として位置づけ、これまでの経験を交流する機会としました。「取組事例と経験交流から考える～“コーディネーター”の役割」をテーマとし、今年度から学校支援ボランティア推進協議会事業を実施している多摩市で開催しました。多摩市をはじめ、多摩地域の多くの方々に御参加いただきました。

平成 21 年度に落成したばかりの、新校舎がまぶしい、多摩市立多摩第一小学校（棚橋乾校長）のホールを会場に、冒頭、多摩市教育委員会 清水教育長と、棚橋校長にご挨拶をいただき、第3回教育支援コーディネーター・ミーティングを開催できました。



■開催日時、開催場所

第3回：11月9日（金） 14時～16時半
多摩市立多摩第一小学校

■対象

教育支援コーディネーター（学校支援コーディネーター、地域コーディネーター）
（区市町村）学校支援地域本部事業担当者

■参加者

大田区（1）、中野区（2）、北区（1）、板橋区（1）、八王子市（1）、町田市（6）、小平市（5）、日野市（1）、福生市（2）、狛江市（1）、東大和市（1）、多摩市（11）、あきる野市（1）、団体等（4） 計38人

■テーマ

取組事例と経験交流から考える～“コーディネーター”の役割

■プログラム内容

・「事例発表」（14時から15時）

コーディネーターの経験が1年から3年の、比較的ビギナーのコーディネーターによる、「どのようにコーディネーターを始めたのか」、「コーディネーターとしての役割をどのように果たそうとしているのか」などの、コーディネーター目線の取組事例報告をしていただきました。

第3回 教育支援コーディネーター・ミーティング（報告）

今回、事例を発表していただいたのは、以下の4人の方々です。

羽澄ゆり子さん（多摩市立連光寺小学校 地域コーディネーター）

関根美咲さん（町田市立金井中学校 学校支援コーディネーター）

毛利弘美さん（小平市立第五中学校 学校支援コーディネーター）

白鳥円啓さん（板橋区立成増小学校支援地域本部地域コーディネーター）



〔羽澄ゆり子さん〕

〔関根美咲さん〕



〔毛利弘美さん〕

〔白鳥円啓さん〕

・グループワーク（15時から17時）

後半は、事例を受けて、ワールドカフェというワークショップの手法で、「コーディネーターの役割」について4人ずつのグループに分かれて、考えあいました。



まずワールドカフェのルールを説明です。
従来の「会議」「ミーティング」のやり方ではなく、カフェで対話し、課題や成果を共有することに重きを置いた、新しい会議の手法です。



模造紙の真ん中に、本日のテーマを書いています。
「事例をふまえてコーディネーターの役割を考える」



テーブルにひとりホストを固定して、3つのラウンドごとに他の3人は他のテーブルに移動します。



模造紙に発言内容を書きながら、リラックスしながら、対話をします。

■参加者の感想より

以下のような感想が寄せられました。

〔事例発表を聞いて〕

「時間の短い中、内容も、もりだくさんで話して頂き、多くの事例を知ることができました。」

「ゲストティーチャーをどうやってみつけていらつしやるか、もう少しききたかった。」

〔ワールドカフェについて〕

「各市の取り組み、自分の悩み、いろいろ聞かれてよかったです。」

「1テーブルだけでなく、場所を移動することにより、多くの人意見を聞くことができました。」

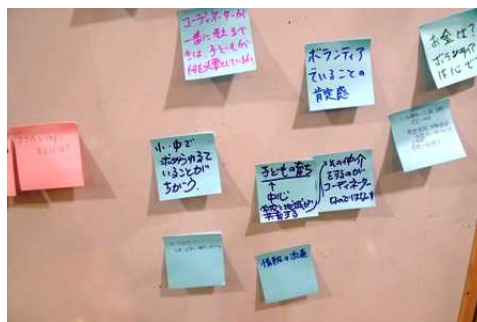
「かかえている問題などがよくわかり、本当にこれから取り組むうえで、参考にしていきたいと思います」

「地域、人によって仕事の内容、課題が違い様々な話し合いができた事が大変おもしろかった。」

「短時間、うちとけて深い話ことができました。」

「各市の状況などよくわかりました。みなさん意欲的、話が合って励まされる。」

「新しい手法だったのでとても集中でき、充実したグループワークだった。」



〔最後は、ひとりずつが感じたことをホワイトボードに貼り共有しました〕